

こどうひと
■行動人講座

A 【基礎コース】 生涯学習のススメ (定員60名)

日 時		テーマ	講 師
A1	6/5 (水)	スマカレい・ろ・は ～受講の仕方から生涯学習の基礎知識まで～	秋田県生涯学習センター職員
A2	6/12 (水)	すべて 10:00～11:30	にかほ市生涯学習奨励員活動を通じて得た宝 ～心身の健康～
		マナビスト編 ～死ねまで学ぶことは生きることです～	
A3	6/19 (水)	稲穂が輝く故郷で 黄金の歌声を	シンガー・ゴスペルディレクター 能代市出身 塚本 タカセ 氏

この講座は、新しい学びをこれから始めたいと考えている方や行動人の活動に興味・関心がある方を対象に、生涯学習が人生を豊かにする上でいかに有益なものであるかについて理解を深める講座です。

A1 6月5日(水)「スマカレい・ろ・は～受講の仕方から生涯学習の基礎知識まで～」



本講座は、県生涯学習センター職員が講師を務め、生涯学習の意義や展開について理解する内容を提供しています。講師はスマカレ担当の宮腰徹主任社会教育主事です。前半の講話では「Society5.0」について触れ、これからは個人の幸福な人生と、持続可能な活力ある社会の実現を目指していくことが求められると話しました。そこで、スマカレを取り上げました。スマカレには、趣味教養的な講座だけではなく、現代的な課題を学ぶ講座や人材養成を目的とする講座があり、社会からの要

請の理解につながります。スマカレの一端や、ボランティア団体・行動人の取組も紹介し、これからは一層、学ぶ者が学ぶ者を支えていく機運の醸成やネットワークが重要になるとまとめました。

後半のワークショップでは、受講者同士で「あなた自身、どんな学びをしたいと思いますか？」など3つのテーマに基づいて話し合い、学ぶ目的を再認識しました。始めは、意見を述べることにとまどいを見せた方もいましたが、ラウンドが進むごとに、自分の学び方に関する考えを整理し広げることができたようです。講座後には、「新たな時代に向かうことに不安を感じながらも、少しでも勉強しコミュニケーションをとって前向きになれば」と感想を寄せてくれました。

A2 6月12日(水)【マナビスト編】

「にかほ市生涯学習奨励員活動を通じて得た宝～心身の健康～」

講座前半は、にかほ市生涯学習奨励員である熊木昭夫氏からお話をいただきました。熊木氏は大変好奇心旺盛な方で、版画・郷土史研究・陶芸・居合道・抜刀道・染色・切り絵・絵手紙等、たくさんの趣味をお持ちです。その趣味を生かした社会貢献活動は新聞でもたくさん紹介され、中でも、短冊札に芭蕉の句を盛り込んだ花札は、にかほ市の歴史や文化、自然が満載で、地元の魅力が溢れる教材でした。熊木氏は御自身の経験から、2つ以上の趣味を「持って」「続けて」「伝えて」いくことが自分の心の健康を保つことになると勧めてくれました。趣味を生かしながら、地域のよさを、次代を担う子どもたちに表現する姿は、まさに行動人のモデルそのもの。受講者は美しい制作物と前向きな姿勢を目の当たりにして大いに感心していました。





「中通地区高齢者学級への思い～死ぬまで学ぶことは生きることです～」

講座後半は、秋田市にある中通地区高齢者学級の会長を務めている **大橋 初代 氏** からお話をいただきました。高齢者学級設立時の悩みや努力のほか、様々な機関や団体と関わりながら企画・運営している学習会や協議会の話など、特に、運営に携わっている方にとっては、その実際を聞くことができる貴重な機会でした。また、生涯学習手帳を活用する利点を具体的に紹介していただき、受講者のこれからの学び方のヒントとなりました。受講後のアンケートでは「目標をもち、前向きな姿勢で過ごす。挑戦・研究・感動が大切だと知った」というように、受講者は講師の取組と考え方に元気づけられ、これからの行動の原動力に結び付けていたように思いました。

A 3 6月19日（水）【行動人編】「稲穂が輝く故郷で 黄金の歌声を」



講師は能代市出身でシンガー・ゴスペルディレクターの **塚本 タカセ 氏** です。塚本氏は現在、都内を中心に活動しながら、「三種ゴスペル」を立ち上げるなど、秋田県内でもゴスペル普及に力を注いでいます。ゴスペルはシンプルで分かりやすい歌詞とメロディライン、ハーモニーで直感的に楽しめる音楽です。塚本氏は一貫して、ユーモアを交えながら話したり情熱的に歌ったりとリードし、会場にいる全員が肩の力を抜いて過ごせるような雰囲気づくりに努めてくれました。そのおかげで、ソプラノ・アルト・バスパートに分かれた受講者は、自然と手拍子をとって体を揺らしながら声高らかに3曲を歌い上げました。また、「一体感がある新しい講座でとても楽しかった。ゴスペルを身近に感じました。先生がんばって！」と、歌声を重ねる心地よさを体感することができたようです。塚本氏の故郷とゴスペルを愛する心が会場で感動を巻き起こしていました。若者が大切にしたいものに邁進し、故郷でメッセージを届けるその行動力に触れ、新たな世界に踏み込む楽しさに加えて、若者が文化を牽引する頼もしさを覚えた講座となりました。

